

自殺・自傷の予防にむけて

社会全体で取り組む若者の自殺予防



特別講演

自傷行為とオーバードーズの理解と援助 ～若者の自殺予防のためにできること

昨今、若者の自傷行為やオーバードーズなどが社会問題として広く知られるようになっており、自殺予防における重要なトピックです。

自殺予防は社会全体で意識し、取り組む必要がございます。

今回、自殺未遂者等支援研修を実施するにあたり、国立精神・神経医療研究センターより、自殺予防や薬物依存の第一人者である松本俊彦先生をお招きし、ご講演いただきます。

医療者や関係機関の職員だけでなく、広く一般の方のご参加をお待ちしております。



講師

Toshihiko Matsumoto

松本 俊彦 氏

医師

国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所 薬物依存研究部 部長
／薬物依存症センター センター長

1993年佐賀医科大学卒業。横浜市立大学医学部附属病院にて初期臨床研修終了後、国立横浜病院精神科、神奈川県立精神医療センター、横浜市立大学医学部附属病院精神科、国立精神・神経センター精神保健研究所の司法精神医学研究部室長、同自殺予防総合対策センター副センターなどを経て、2015年より現職。2017年より国立精神・神経医療研究センター病院薬物依存症センターセンター長を兼務。現在、日本精神科救急学会理事、日本社会精神医学会理事、日本アルコール・アディクション医学会理事、日本学術会議アディクション分科会特任連携委員。

主著に、『自分を傷つけないにはいられない～自傷から回復するためのヒント』（講談社、2015）、『もしも「死にたい」と言われたら～自殺リスクの評価と対応』（中外医学社、2015）、『薬物依存症』（筑摩書房、2018）、『誰がために医師はいる～クスリとヒトの現代論』（みすず書房、2021）などがある。

令和6年 11月 27日 (水)

時間 15:00～16:30 (30分前受付開始)

対象者 どなたでもご参加いただけます

参加費 無料

定員 500名 (当日参加も可能ですが、ぜひ事前申し込みにご協力ください。)

会場 かしはら万葉ホール
1F ロマントピアホール

〒634-0075 奈良県橿原市小房町11-5

申込 裏面にごございますWEBフォームからお申込みください。
必要事項をご記入の上、FAX又は郵送でもお申し込み可能です。

主催：奈良県立医科大学精神医学講座

後援：奈良県、橿原市、奈良県医師会精神神経科部会

自傷行為とオーバードーズの理解と援助 ～若者の自殺予防のためにできること

WEBフォームからお申込みください。

必要事項をご記入の上、FAX又は郵送でもお申し込み可能です。

特別講演参加申し込み



0744-22-3854



<https://forms.office.com/r/mFddWH44XH>



〒634-8521 奈良県橿原市四条町840番地

奈良県立医科大学精神医学講座内 自殺予防研修事務局宛

参加者

ふりがな	年齢
氏名	小学生・中学生・高校生・専門/大学生 20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代以上
電話番号	FAX番号
住所 〒	

医療者・関係機関のみなさま

自殺未遂者等支援研修の開催につきまして

本特別講演会の実施に先立ち、13時から14時30分まで、かしはら万葉ホール
の会議室にて、自殺未遂者等支援研修会を実施いたします。

架空症例を用いたケースカンファレンスを予定しています。

参加をご希望の方は、右のQRコードから申し込みをお願いいたします。

大変申し訳ありませんが、先着20名までの参加とさせていただきます。

※ご記入いただいた個人情報は、上記の利用目的のみに使用し、第三者に提供することはありません。

※電話でのお申し込みは受け付けておりません

自殺未遂者等支援研修 参加申し込み



主催・お問い合わせ

奈良県立医科大学精神医学講座内



0744-22-3051 (代表)

自殺予防研修事務局